

2.3.2 手順フローページ

手順フローページでは、詳細化された親ページの手順をフロー形式で表示します。さらに手順が詳細化される場合、子ページに記載されます。

The screenshot shows a web browser window with the URL `industrial-big-data.io/wiki/flow1/手順2-<wf1>モデリング/`. The page content is as follows:

- 親ページ: 目的1 故障分析を実施する
- 手順1 <WF0-1-1-1> モデリングモジュールに切り替える
- 手順2 <WF1> モデリング
 - 手順2.1 <WF1-1-1> プロジェクトを作成する
 - 手順2.2 <WF1-2-1> システムのモデルを作成する
 - 手順2.3 <WF1-9-1> システムの技術要件を検討する
 - 手順2.4 <WF1-3-1> コンポーネントの子部品を作成する
 - 手順2.5 <WF1-4-1> 部品の故障ダイアグラムを作成する
 - 手順2.6 <WF1-5-1> 故障シミュレーションを実施する
 - (参考)手順2.a <WF1-8-1> モデルインポート
 - (参考)手順2.b <WF0-6-1> ライブラリでアイテムを再利用する

The workflow diagram on the page is titled '<WF1>モデリングワークフロー' and shows a vertical flow from step B to step A. Each step includes a description and a callout box with additional information:

- <WF1-1-1> プロジェクトを作成する: 部品情報が記載されたExcelをインポートして、モデルを作成することも可能です。詳細は以下のWFを参照してください。・<WF1-8-1> モデルインポート
- <WF1-2-1> システムのモデルを作成する: モデルのアイテムは、ライブラリによって再利用が可能になります。詳細は以下のWFを参照してください。・<WF1-9-1> ライブラリでアイテムを再利用する
- <WF1-9-1> システムの技術的要件を検討する: 必要に応じて、システムの技術的要件を確認することが可能です。
- <WF1-3-1> コンポーネントの子部品を作成する: 子部品も、ライブラリを使用することで再利用が可能です。詳細は以下のWFを参照してください。・<WF06> ライブラリでアイテムを再利用する

親ページ

手順フローページ

手順フローページの手順の詳細は子ページに記載

詳細化された親ページの手順のフロー